

令和5年第5回鹿角市議会定例会 一般質問

□質問順位及び質問所要時間

9月13日(水) 午前10時～	1	金澤大輔	議員	(45分)
	2	成田哲男	議員	(30分)
	3	湯瀬誠喜	議員	(30分)
	4	笹本真司	議員	(30分)
	5	湯瀬弘充	議員	(30分)
	6	倉岡誠	議員	(30分)
9月14日(木) 午前10時～	7	戸田芳孝	議員	(30分)
	8	丸岡孝文	議員	(30分)
	9	児玉悦朗	議員	(45分)
	10	兔澤祐一	議員	(60分)

□質問時間割当表

10:00	10:45	10:55	11:25	11:55	13:00	13:30	14:00	14:10	14:40
9月13日 (水)	金澤大輔 (45分)	休憩 10分間	成田哲男 (30分)	湯瀬誠喜 (30分)	休 憩	笹本真司 (30分)	湯瀬弘充 (30分)	休憩 10分間	倉岡 誠 (30分)

10:00	10:30	11:00	11:10	11:55	13:00	14:00
9月14日 (木)	戸田芳孝 (30分)	丸岡孝文 (30分)	休憩 10分間	児玉悦朗 (45分)	休 憩	兔澤祐一 (60分)

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45分
質問事項			質問要旨		
1	トップセールスについて	<p>① 台湾でのトップセールスの手応え、今後の展開についてどう考えているか伺う。</p> <p>② トップセールスの重要度をどう捉えているか。また、トップが直にセールスに行くことについてどう考えているか伺う。</p> <p>③ トップセールスの重要性を踏まえ、全国各地の鹿角出身者に「鹿角」を売り込むトップセールス行脚をしてはどうか。市長自らが鹿角出身者に売り込みをかけることでパイプができ、それが双方にとってプラスになると考える。 全国各地の人材とつながるチャンスだと考えるが、市の考えを伺う。</p>			
2	空き校舎と遊休施設の現状について	<p>① 3月定例会の代表質問に対して、空き校舎は4施設が未利用状態であるとのことだったが、学校以外の遊休施設はどのようなもので何件あるか伺う。</p> <p>② これまで遊休施設に対し施設利用希望の問い合わせは何件あったか。また、物件情報として提供した企業誘致活動は何件あり、どのような企業に売り込みをし、どのような理由で成立しなかったのか伺う。</p> <p>③ 花輪北小学校のグラウンドについて、市民からスポーツで利活用したいという声が届いている。使用できるものは活用し、賃貸物件として幾らでもお金を稼ぐ資産に変えるか、また、売却して市から切り離し管理を任せる等の方策を取るべきと考えるが、現状はどのようなになっているか伺う。</p> <p>④ 茨城県笠間市では、空き校舎や遊休施設を「負の遺産にしてならない」、「使えるものは使い、価値をつけ「資産」にしなくてはいけない」という観点から、学校の統廃合が決まると同時に利活用の方策、相手探しの売り込みをして、公募までの流れを作っている。 それに比べると本市の対応は遅すぎると感じている。「負の遺産」は、文字通り未来世代への負債であるが、未だ道筋がつけられていないことを市のトップとしてどう考えているのか。また、鹿角市公共施設等総合管理計画で、今後どのように考え対処していくのか、考えと方向性を伺う。</p>			

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45分
質問事項				質問要旨	
3		スポーツによるまちづくりについて		<p>① 笠間市では、国の「スポーツによる地方創生 まちづくり」に則り、市内スポーツ資源を活用した「スポーツによるまちづくり」を推進して、その中に空き校舎の利活用も盛り込み、昨年、スポーツ庁の「スポ町！長官表彰」を受賞している。本市も「スキーと駅伝のまち」は掲げているが、それ以外の社会人スポーツも盛んであり、タートルマラソンで地域福祉、パークゴルフで高齢者の健康増進など「スポーツシティ・スポーツ立市」の土台は既にあると考える。</p> <p>本市も笠間市のように、「スポーツシティかづの」を宣言し、関係団体と連携し、使える空き校舎や体育施設などの市内スポーツ資源を活用した「スポーツによるまちづくり」を推進し、スポーツ振興で課題解決に挑む考えはないか伺う。</p>	
4		企業誘致について		<p>① 笠間市や千葉県鋸南町では、企業に売り込みをして、誘致し利活用してもらう方法が取られていた。笠間市ではコンタクトレンズの株式会社メニコンが、飼い主にもしものことがあった場合の終生飼養や一時預かりをメインに、空き校舎を改装して飼い主と愛犬のための施設をオープンしている。鋸南町ではホテル「ドリーミン」を運営している株式会社共立ソリューションが、廃校をノスタルジーと結び付け、教室に泊まれるようにリノベーションしたり、食事を懐かしの給食メニューを再現して提供したりと、小学校のイメージをそのまま売りにして、年間約100万人が来場する道の駅に生まれ変わらせているなど、企業に空き校舎の売り込みをし、ビジネスとして成立させ資産に変えていた。これもひとつの企業誘致と考えるが、本市でも同様の取組みはできないか伺う。</p>	
5		まちなかオフィスについて		<p>① 東京都立川市で、信用金庫と外食企業が手を組み設置した、コワーキングスペース・インキュベーションオフィスの機能を持つ、事業・地域支援のための交流拠点を視察してきた。そこでは起業家やその卵たちがメンターやイベントを介して様々な交流が生まれ、活気に溢れていた。</p> <p>まちなかオフィスも当初はそのような光景を想定して整備したものと思うが、起業ノウハウを教えるメンターがない、サポート体制が整っていない状態では、単なる貸し部屋でしかないと考える。</p> <p>地方でもスタートアップの土台となる基盤として、市と金融機関と企業がタッグを組んだ支援が必要だと考えるが、起業ノウハウを持った企業を誘致して取り組む考えはないか伺う。</p>	

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	1	質問者	金澤 大輔	質問所要時間	45分
質問事項				質問要旨	
6		これからの行政視察、議員と職員 の連携について		②	<p>本市で遅れているのは、起業に対する教育と起業家の育成だと思うが、そのためにまちなかオフィス全体をもっとイノベーションが生まれるような空間にして、学生や若者が気軽に出入りできるような場所ではなくてはならないと考える。国が始めた「スタートアップ育成5か年計画」に基づいて、自治体として全面的にスタートアップ支援を打ち出し、共に社会課題を解決するパートナーを全国から公募し、まちなかオフィスをベンチャーで埋め尽くすようなスタートアップ拠点にする考えはないか。また、それによりサテライトキャンパスはさらに学びの深みを増し、居住とコワーキングスペースの確保に空き家を結び付けるなど副産物も多くなると考えるが、そのようなことは考えられないか伺う。</p> <p>① 市の課題解決の事例を学ぶため議員の行政視察があり、我々も学んできたことを提案するのだが、実際に見たものと聞いただけのものでは感じ方や捉え方が違い、そもそもの課題の重要度が互いに違っていれば何一つ課題解決に結びつかないと、一般質問の答弁に対しいつも感じてきた。</p> <p>課題に対して職員・議員の垣根を超えてチームで取り組み、解決すべき課題と解決事例、視察先を選び、結果を共有し、そこから方法を考え、一つずつ前に進めば課題は減っていくのではないかと考えている。</p> <p>そこで、行政視察の議員と職員の連携を提案するが考えを伺う。また、課題解決には若い視点も必要で、これから先を考えると育成という観点が必要であると考えることから、若手職員の行政視察への参加を併せて提案したいが、市の考えを伺う。</p>
7		若い世代の意見をどう反映させていくのか		①	<p>若年層の市外流出が顕著な中、若者の意見をもっと取り入れてはどうか。域学連携で提言をまとめてもらう機会を設けるなど、若者主体に寄せている印象はあるが、提言以上の結果・成果が見られないと感じている。本気で若者の意見を反映させていかなければ、若者はこれからも市外へ出ていったきりになる。</p> <p>山形県遊佐町では、「若者の力で、遊佐の未来をつくろう」と、遊佐町在住・在学の中高生の中から、少年町長と少年議員を選挙で選び、「少年議会」を開催し、町の若者の代表として「中学生・高校生の政策」を議論し決めて、町ではその政策を尊重し、少年町長と少年議員が決めた政策を実現させる取り組みがある。自分たちの力で地元の未来をつくるために考え、それが具現化される経験ができれば、自ずとシビックプライドが生まれ育まれると思うが、「少年議会」のような取り組みを学び、取り入れていく考えはないか伺う。</p>

令和 5 年第 5 回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	2	質問者	成田 哲男	質問所要時間	30 分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
1		台湾へのトップセールスについて		① 8月の台湾へのトップセールスで、市の農産物や観光コンテンツなどPRした結果、どのような反応であったか伺う。 ② 新たなつながりができた旅行会社に対し、本市からの支援を考えているようだが、どのような内容か伺う。	
2		保育園の給食や支援について		① 保育園の主食についてアンケートを実施したようだが、その結果について伺う。 ② 保護者から様々な意見に対し、市として「よりよい保育のあり方」を考える方向のようだが、現時点で何があるか伺う。	
3		大湯環状列石について		① 「秋田の縄文遺跡群 保存活用基本構想」が本年3月に策定された。その構想の内容について伺う。 ② 県道移設に向けた地質調査や予備設計を県が発注したが、市で把握している内容について伺う。	
4		太陽光発電の事業者募集について		① 遊休市有地を活用した発電事業者を募集しているが、現在の状況について伺う。	
5		花輪線の活性化について		① 花輪線利用促進協議会で、今年度の全線における1日当たりの通過人員目標を357人と設定したと聞く。事業のブラッシュアップを行い実現可能なものを実施するようだが、内容について伺う。 ② 357人という目標値に対し、JR側からは、もっと増やすという考えで取り組む必要があるとのコメントがあったようだが、これをどう受け止めているか伺う。	
6		新型コロナウイルスについて		① 厚労省が来春からコロナ支援の廃止を検討しているようだが、治療薬や入院補助が縮小となる見込みに対し、市としてどのような対策を検討するのか伺う。	

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	3	質問者	湯瀬 誠喜	質問所要時間	30分	
質問事項				質問要旨		
1		消防団への対応について (1) 活動服の更新について (2) 消防団員の確保対策について (3) 資材置場(番屋)の補修について		<p>① 消防団員の活動服は20年以上変わっていないと思われるが、現在の活動服はいつ頃更新したもので、今後の更新の計画について伺う。</p> <p>① 人口減少に伴い、団員が定員に満たない状況が続いているが、団員確保のための対策等について伺う。</p> <p>① 各分団で資材置場の維持管理に努めているが、屋根の点検や塗装などは危険を伴うため、実施できない。建築年が古い資材置場などの点検や補修などを実施できないか伺う。</p>		
2		鹿角市の医療体制について (1) ドクターヘリや救急車による搬送について (2) 医療環境の充実について		<p>① ドクターヘリや救急車による搬送件数はどれくらいか伺う。また、どのような理由が多いのか伺う。</p> <p>① 医療スタッフと機器等の整備により、地元の病院においても対応可能な症例が増えると思うが、医師などの医療スタッフの配置と設備の整備状況は充足しているか、市の考えを伺う。</p>		
3		昨年8月の豪雨災害の復旧状況及び避難ルートについて (1) 復旧状況について (2) 今後の予定について		<p>① 既に復旧工事が完了している箇所や着工中の箇所が見受けられるが、未着工の箇所もある。現在の復旧状況について伺う。</p> <p>① 今後の復旧工事の順番や工期を公表できないか伺う。</p>		

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	3	質問者	湯瀬 誠喜	質問所要時間	30分	
質問事項				質問要旨		
(3) 避難ルートの確保について				<p>① 大湯中川原地区の避難ルートについて、地元から見直しの要望が多く寄せられているため再度伺うが、昨年的一般質問では、避難ルート確保のために新たな道路などの整備を行う考えはないとの答弁であったが、現在もその考えに変更はないか伺う。また、市内には、災害時に孤立集落となる恐れがある地域も多くあると思われるため、計画的に整備を進めていくべきと考えるが、市の考えを伺う。</p>		
4 鳥獣対策について				<p>① 連日熊の目撃情報による注意喚起がされているが、現在使用可能な捕獲用の箱わなの数はどれくらいで、出没件数に対応できるように充足しているのか伺う。</p> <p>② 今後も個体数の増加が予想されるが、市としての対策について伺う。</p>		

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	4	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30分
質問事項				質問要旨	
1		花輪線について		<p>① 昨年8月の豪雨被害のため、鹿角花輪～大館間で運休止、関係者の尽力により5月に復旧したことは地域にとって大きな喜びであった。一方でJR東日本が公表している資料によると、2022年度の利用者は、1987年度比で19.0%、2018年度比で76.9%、2021年度比で95.2%となっており、新型コロナウイルスの影響を考慮したとしても全体的な減少傾向は変わっていない。鹿角市統計書等で鹿角花輪駅の1日平均乗車人員を見ると、1968年では2,065人（鹿角市の人口：約5万人）、鉾山閉山直後の1985年では950人（鹿角市の人口：約4.5万人）、2003年では329人（鹿角市の人口：約3.9万人）、2021年では179人（鹿角市の人口：約3万人）となっており、以上を踏まえた上で次の点について伺う。</p> <p>(ア) 過去50年間の利用実績から、利用者減少の主たる要因については、時代の変遷とともに変化していると考えるが、市ではどのように分析しているか。</p> <p>(イ) 鹿角花輪駅から大館駅、盛岡駅の両区間の旅客輸送に占める自家用車、バス、花輪線のおよその利用割合はそれぞれどれくらいか。</p> <p>(ウ) 改正地域公共交通活性化再生法が成立し、10月から施行される。地域の持続的な交通体系の再構築に向けた合意形成を国が支援する内容となっている。「再構築」とは、鉄道廃止か存続かという二者択一の議論ではなく、上下分離方式やMR Tなどを採用するなどして持続可能かつ最適な手法を構築することだと理解している。JR西日本の芸備線の一部区間では、早速、JR西日本よりこの法律に基づいて再構築協議会の設置が要請された。 現在、鹿角市は花輪線を存続させるための努力をする方針であると理解しているが、特に利用者の少ない荒屋新町～鹿角花輪間が対象になる可能性はないか。</p> <p>(エ) 利用者増加のためには、八幡平市のように公共施設を駅前に設置したり、バス等との乗換利便性の向上、駅舎の空きスペース有効活用による賑わい創出といった取組みは、利用者の増加のみならず、鹿角市の花輪線存続に向けた意思表示としても重要と考えるが、このような取組みをする考えはあるか。</p>	

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	4	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30分
質問事項				質問要旨	
2		地域交通の整備について		<p>① 大館市で実施している大館版m o b iのように、ワゴン車の導入による輸送媒体の最適化やI Tを利用した乗降地点増加、利用直前での予約ができるなどの利便性向上といった地域交通システム改善に向けた取組みを実施する考えはないか。</p> <p>② 中学校のクラブ活動もスポーツ少年団に移行される流れになっている。学校への通学に関してはスクールバスなど、移動支援体系がある程度できているが、クラブ活動の場所が最寄りの学区にない子供たちについては、移動を保護者等に依存している。保護者の時間的・経済的負担の増加や子供の保護者への依存度の増加は子供の自立にとっても良くない考える。 スクールバス等で学校、クラブ活動場所、自宅最寄りの公共施設等を結ぶ子供たちの輸送手段を構築をする考えはないか。</p>	
3		3歳以上の保育園児等への主食提供に関して		<p>① 保護者の主食提供に関するニーズ調査が実施され、ホームページでも公表されているが、これに関する市の分析結果と今後の方針を伺う。</p>	
4		脱炭素先行地域選定への取組み状況について		<p>① 8月中に第4回の募集があり、今回は令和6年2月頃を予定しているが、脱炭素先行地域選定に向けた取組み状況を伺う。</p>	
5		工事入札の運用状況について		<p>① 予定価格1,000万円以上の電気工事における入札状況を見ると、以前は6者以上の参加が大部分を占めていたが、令和4年7月以降になると1者のみの参加が大部分となっている。 複数業社による入札参加が望ましいと考えるが、このように大きく変化した理由を市ではどう捉えているか。</p>	

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	4	質問者	笹本 真司	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
6		かづの観光物産公社の外部監査指摘事項の改善状況について	<p>① 昨年市長の外部委託により、かづの観光物産公社に対する経理や仕入れ等の調査を実施したが、報告書の指摘事項について以下のとおり伺う。</p> <p>(ア) 令和4年度実績における売店レストラン仕入れ高に占めるプラザの割合について。</p> <p>(イ) 新規取引先は直接取引を原則とするなどの規定等の整備状況について。</p> <p>(ウ) その他、具体的な取組みや改善に向けた今後の予定について。</p>		

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	5	質問者	湯瀬 弘充	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
1	新型コロナワクチンについて		<p>(1) 接種券の送付について</p> <p>① 9月20日以降に開始されるワクチン接種について、65歳以上の高齢者や基礎疾患を有する方を除き努力義務はなくなったが、以前と同様に対象者全員に接種券を送付するのか伺う。</p> <p>(2) 安全性について</p> <p>① 8月30日現在の新型コロナワクチンによる予防接種健康被害救済制度にて、認定された方は3,888人(内死亡者210人)いる。審査結果の85.79%が認定されている状況である。昭和52年の制度開始から新型コロナワクチンを除いた被害者の総数は令和3年末で3,522件(内死亡者151人)となっており、この数字を比較する限りとても安全とは思えないが、本市の見解とその安全性を伺う。</p>		
2	三湖伝説ツアーについて		<p>(1) 参加者からの評価や感想について</p> <p>① 9月1日に行われた「十和田湖と八郎太郎」ゆかりの地めぐりと北限の桃狩りツアーについて、参加された方の感想と評価をどう受けとめているか伺う。</p> <p>(2) 費用対効果について</p> <p>① 費用対効果について、どれほどあったと算出しているか伺う。</p> <p>(3) 今後の展望について</p> <p>① 今回のツアーを行い、そこから見えてきた今後の課題と展望を伺う。</p> <p>(4) 関連市町村の取組みについて</p> <p>① 関連する他市町村の取組みについて、今年度はどのようなことを行っているのか伺う。</p>		

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	5	質問者	湯瀬 弘充	質問所要時間	30分	
質問事項				質問要旨		
3		あきたこまちRについて		<p>① カドミウム低吸収性品質の米として開発された「あきたこまちR」について、秋田県は2025年から従来の「あきたこまち」から全量転換させる計画である。「コシヒカリ環1号」を親に「あきたこまち」を交配した株に、7回も「あきたこまち」を戻し交配を繰り返し、カドミウム吸収性が極めて低い株を選抜しているが、放射線を当てた親の遺伝子も引き継いでいることから、不安の声も上がっている。その安全性と品質について本市はどう考えているか伺う。</p> <p>② 様々な要因から風評被害も考えられるが、その安全性の周知を生産者と消費者にどのように行っていくのか、考えを伺う。</p> <p>③ 今年度、本市で「あきたこまちR」を作付けしているところはあるのか伺う。</p>		
		(1) 安全性と品質について		<p>① カドミウム低吸収性品質の米として開発された「あきたこまちR」について、秋田県は2025年から従来の「あきたこまち」から全量転換させる計画である。「コシヒカリ環1号」を親に「あきたこまち」を交配した株に、7回も「あきたこまち」を戻し交配を繰り返し、カドミウム吸収性が極めて低い株を選抜しているが、放射線を当てた親の遺伝子も引き継いでいることから、不安の声も上がっている。その安全性と品質について本市はどう考えているか伺う。</p>		
		(2) 安全性の周知について		<p>② 様々な要因から風評被害も考えられるが、その安全性の周知を生産者と消費者にどのように行っていくのか、考えを伺う。</p>		
		(3) 現在の作付けについて		<p>③ 今年度、本市で「あきたこまちR」を作付けしているところはあるのか伺う。</p>		

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	6	質問者	倉岡 誠	質問所要時間	30分
質問事項				質問要旨	
1	<p data-bbox="168 370 526 402">ヤングケアラーについて</p> <p data-bbox="654 370 2116 486">① 少子高齢化が進む中で、核家族化が進み、共働き世帯やひとり親世帯が増加するなど家族の構成が大きく変わった現在において、家族の助け合いを前提とした考え方で、子供がそのしわ寄せを受けることになる恐れがある。</p> <p data-bbox="683 494 2116 654">家事や家族の世話をすること、その頑張りや家族への愛情というのは非常に尊いことだが、その結果、学校に行けなかったり、友達と過ごす時間がなかったり、子供がその時期に経験すべき機会、そしてその先の未来を奪ってしまうような事態を招いてはならないと思う。正しく理解・認識し、子供が相談できるよう取組みを進めていく必要性を感じている。</p> <p data-bbox="683 662 2116 742">そこで、本市の調査結果の実態について、また、国・県の実態調査結果についてどのように認識し、今後どのように支援を行っていくのか伺う。</p> <p data-bbox="654 790 2116 869">② ヤングケアラーが気軽に相談できる窓口の開設や、子供たちの気持ちを十分尊重した上で適切な支援に確実につなげていく体制が必要だと考えるが、市の考えを伺う。</p>				

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	7	質問者	戸田 芳孝	質問所要時間	30分	
質問事項				質問要旨		
1 市長の選挙公約について						
		(1) 市民との対話(市政への民意反映)について		<p>① これまで寄せられた市民の意見や要望は、どのように集約・整理され、政策に反映されるのか。具体的な仕組みやプロセス、そして、実際に政策に結びついた事例について伺う。</p> <p>② 他自治体においても、首長が「住民との対話」を積極的に行っていることは把握しているが、その対話を公約で強調されている背景には、特別な意図や狙いがあると思われる。対話を通じての目指す方向性や目標、他自治体と異なる点(独自性)について伺う。</p>		
		(2) 「北東北ゴールド構想」の実現について		<p>① 「北東北ゴールド構想」の実現性を示すフレーズ「あと一步で鹿角は日本一になれるんです(討議資料 vol.2)」や「必ずやり遂げることをお約束します(選挙運動用ビラ)」には、多くの市民が夢を描き、期待を寄せていることを考慮し、以下の点について伺う。</p> <p>(ア) 「国や県、近隣市町村と積極的に交流し、広域的な視野で地域発展を目指す(2021年4月21日政策発表)」と述べられているが、地域をどのように変革させ、本市にどのような効果をもたらしてきたのか。また、今後の展望について伺う。</p> <p>(イ) 「国家公務員としての長年の経験と国内各地に築いた人的ネットワークを活用する(2021年4月21日政策発表)」との内容が含まれているが、具体的にどのように人的ネットワークを活用しているのか、事例を交えて伺う。</p> <p>(ウ) 当該構想を実現するための具体的なステップや進捗状況について、市民に説明するなど透明性を保っているのか伺う。</p>		
		(3) 産婦人科(分娩機能)の再開について		<p>① 「産婦人科再開は早期に解決できます。いや、します。(リーフレット、Webサイト掲載)」と、明確に掲げられた当該公約について、市民は迅速な対応を期待している。市民の信頼を損なわないためにも、実現へのプロセスを示すことが重要であり、具体的なスケジュール(計画・再開時期)について伺う。</p>		

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	7	質問者	戸田 芳孝	質問所要時間	30分	
質問事項				質問要旨		
(4) 大学の創設について				① 「市内には既に大学に相当する機関が存在しており、これらの施設と市が連携し、市内外に対応できる教育機関として整備し、研究員・研修員を受け入れ、段階的に大学へと成長させる(リーフレット・Webサイト掲載)」と掲げているが、計画の現状について伺う。		
(5) 森の学校や鹿角伝説館の設立について				① 「統合した学校跡に森の学校や鹿角伝説館をつくり、市民の学びや観光にも生かします(選挙運動用ビラ)」と掲げられた公約について、計画の状況について伺う。		

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	8	質問者	丸岡 孝文	質問所要時間	30分
質問事項			質問要旨		
1		非核宣言都市懸垂幕常時掲示について		<ul style="list-style-type: none"> ① 鹿角市議会議長からの常時掲示の要請について、その対応を伺う。 ② 懸垂幕を恒久的な石碑等に替えて庁舎敷地内に設置するべきと考えるが、市長の考えを伺う。 	
2		敬老期間のわいわいランチについて		<ul style="list-style-type: none"> ① 「自治会単位での実施」等、事業への不満解消への対策について伺う。 ② 市長はじめ行政側は、自治会を「良いパートナーとして」とよく表現するが、この「良い」とはどのような関係を表しているのか伺う。 ③ 令和4年度の実績と今年度の参加者目標を伺う。 ④ 対象でありながら参加できなかった理由について伺う。 ⑤ この事業の目的、位置付けについて伺う。 ⑥ 敬老会事業を地域で開催できるよう拡充した施策ということだが、事業趣旨が変わっていないのか伺う。 ⑦ この事業は、高齢者世帯の実情から本施策が福祉の公平を保っているか伺う。 	

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	9	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	45分
質問事項				質問要旨	
<p>1 十和田図書館建築工事について</p> <p>(1) 工事の発注方法について</p> <p>(2) 入札が7月まで遅れた理由について</p> <p>(3) 7月の入札が不調だった理由と8月の2回目の入札の結果について</p>	<p>① 6月議会での一般質問の中で、十和田図書館建設工事について、市長の答弁は「5月に秋田県の入札参加資格者名簿の格付けに変更があったため、最新の格付けに基づく業者への工事発注が望ましいと判断し、入札時期の調整を行ったことや、発注方式の選定を慎重に進めていることで時間を要しており、入札は7月中旬を見込んでいる」という答弁があったが、当初の予定では、建築工事、電気設備工事、機械設備工事の各工事は一括発注、分離発注のどちらであったか伺う。また、併せて仮に当初の予定が一括発注だった場合、分離発注に変更したことで工事費の増額はなかったのか伺う。さらに、過去に発注内容を変更した事例はあるのか伺う。</p> <p>① 入札時期の調整や発注方式の選定を慎重に進めたので入札が遅れたとしていたが、最新の格付けと事業の発注について関係性はないと考えられ、その時々で格付けで粛々と入札を行うべきものと思う。4月時点での格付けでは何か問題があったのか伺う。また、オープンまで日数が無い中でこの最新の格付けにこだわる理由を伺う。</p> <p>① 1度目の入札で入札参加業者が何者かあったのか、不調の内容、不調を受けて2度目の入札では何か条件変更（応募範囲の変更や予定価格の変更、設計の変更工事期間の変更等）して臨んだと思うが、その内容と入札参加者数、予定価格に対する落札率について伺う。</p>				
<p>2 医療体制の強化について</p> <p>(1) 医療体制の現状と改善点について</p>	<p>① 自治会長会議において、医療体制について「マイナス100の状態からゼロまで引き上げ維持している状況。市から毎年9,300万円の助成をし、医師の確保事業や機器の更新等を行い、厚生病院を支えている。今後とも医師会と協力しながらマイナスにならないようにしたいと思うのでよろしくお願い申し上げます」と発言しているが、マイナス100の状態とはどのような状態であったのか、どのような施策を実施し、何を改善してゼロの状態になったのか伺う。</p>				

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	9	質問者	児玉 悦朗	質問所要時間	45分
質 問 事 項			質 問 要 旨		
3		湯瀬ふれあいセンターの用途廃止について		① 湯瀬地区で開かれたいつでも市長室での市長の発言が「廃止の言葉が一人歩きしているようだ。温泉の機能を残してどう利用するかを検討する必要がある。住民の皆様の意見を聞き進めていきたい」と報道された。計画では修繕費、維持費が高額なため用途廃止と伺っているが、計画が変更になったのか伺う。	

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.1

順位	10	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨	
1		熱中症対策の推進について		<p>① 熱中症から市民の命を守るため、熱中症対応マニュアルやWBGT（暑さ指数）の認知度向上や行動変容につながる情報発信が必要と考えるが、いかがか。</p> <p>② 高齢者の熱中症に対する予防の意識を醸成するため、熱中症予防のための行動を意識していただくことや、介護や地域保健部門の関係者と連携した取組みが必要と考えるが、現状と今後の対策について伺う。</p> <p>③ 熱中症による救急搬送者における発生場所の7割が屋内となっている。クーリングシェルターの整備に合わせて、外出が難しい高齢者世帯等のエアコンの点検や整備の推進のほか、脱炭素化の観点も組み入れたエアコンのクリーニングなどの普及促進等も重要と考える。エアコンの整備や点検に向け、積極的な勧奨も必要と考えるが、見解を伺う。</p> <p>④ 電気料金が高騰する中、エアコンの利用を控える方も少なくない。特に高齢者は、節約への意識も高い方が多いと感じる。熱中症特別警戒情報が発表されたときに、躊躇なくエアコンを活用できる環境の整備も必要かと考える。また、電気代の高騰への対応も含め、低所得者への支援も必要と考えるが、いかがか。</p> <p>⑤ 学校における子供の熱中症を防ぐための取組みも重要である。小中学校の普通教室の空調設置率はどうなっているか、電気代の手当では十分なのか伺う。また、子供たちの通学時における熱中症予防策も必要と考えるがどのような取組みがなされているのか、併せて、熱中症特別警戒情報が発表された場合、どのように対応していくのか伺う。</p> <p>⑥ 熱中症における注意喚起について、防災ラジオの有効な活用方法がないか伺う。</p>	
2		災害時における「罹災証明書」発行の迅速化について		<p>① 水害についてはハザードマップで警戒区域等が示されているが、九州での水害で「警戒区域」になっていない区域で土砂が流れ込んで死亡者も出ている。このことから、ハザードマップの区域指定の再点検を行うべきと考えるが、いかがか。また、ハザードマップの「警戒区域」で水害が発生した際に罹災証明書の交付のために行う、被災認定調査の実施体制と調査にかかる期間について伺う。</p>	

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.2

順位	10	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60分	
質問事項				質問要旨		
3		自治会等のデジタル化について		<p>② 罹災証明書の発行について、民間との連携と認定方法について伺う。</p> <p>① 自治会等の地域コミュニティの弱体化について、どのような認識を持っているか。また、地域コミュニティを維持するための支援の必要性について、どのように考えているのか伺う。</p> <p>② 人口が減少し高齢化が進む地域では、自治会等の役員として働ける方も少なくなる中で、地域コミュニティの維持は難しいように思われる。そこで、自治会等のデジタル化など、デジタル技術を活用しての地域コミュニティの再構築についてどのように考えているのか。また、具体的にどのような取組みを進めていくのか伺う。</p> <p>③ 高齢者の人口比率は高止まりし、75歳以上の人口比率が増え続ける中で、地域コミュニティの担い手を自治会等に限定する必要はなく、学校や企業、NPO法人など、多様な人材や組織が柔軟に連携する中で、安全に安心して暮らせる共助の仕組みを構築することも必要と考えるが、いかがか。</p>		
4		視覚障がい者の情報取得について		<p>① 視覚障がい者が、情報の取得やその利用、意思疎通ができる社会を目指して、市から市民に送付される公的な通知について、「音声コード」の普及を進めてほしいと考えるが、いかがか。</p>		
5		鹿角市の「奨学金返還支援制度」の推進について		<p>① 奨学金返還に苦しんでいる若者の負担を軽減し、地方創生の観点から、若者の地方定着を促す制度を本市でも実施することが必要と考えるが、市の考えを伺う。</p> <p>② 企業でも、社員に代わって「奨学金を返還できる仕組み」が、令和3年4月から導入され、返還支援した分の金額は、「損金算入」できるようになった。人材確保に向けた取組みの一つとして、ぜひ推進していただきたいと考えるが、市の見解を伺う。</p>		

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.3

順位	10	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60分	
質問事項				質問要旨		
6			道の駅の防災拠点としての強化と地方創生の推進力としての活用について	<p>③ 今後、本市においてこの制度ができた場合には、企業による支援と合わせて、将来市や企業から「奨学金の返還支援」を受けられる可能性があることを、市内の中学生や高校生、また、移住を考える上で、市外の若者にも本制度について周知していくことで「卒業後の進路選択」や「大学等を卒業した後の居住地の選択」にも大きな影響を持つのではないかと考える。ぜひこの支援制度を推進していただきたいと考えるが、いかがか。</p> <p>① 道の駅制度が創設されて30年が経ち、今年2月の時点で全国1,204か所が登録されている。国土交通省では、地方創生の核となる優れた取組みを展開する道の駅に対して、予算などの支援を強化する「全国モデル道の駅」「重点道の駅」の指定を2014年から実施しているが、本市の道の駅での具体的な取組みについて伺う。</p> <p>② 災害時に地域の防災拠点となる「防災道の駅」も2021年度に全国39か所が選定されている。災害時での「道の駅」の活用について、市ではどのように取り組むこととしているのか伺う。</p> <p>③ 2004年の中越地震では、日頃から非常用設備のメンテナンスを入念に行っており、非常用発電や水、炊き出しなどを被災直後から提供することができ、特に観光客などは「道の駅」に避難することができた。緊急時の「道の駅」の住民や旅行者などへの支援の役割が認識された。道の駅がスーパーの代わりとなった事例もある。本市の道の駅の地域住民の生活拠点としての重要性についてどのように考えているか伺う。</p> <p>④ 災害発生時の防災機能を強化し、「防災道の駅」として整備し、観光業者、大学、交通事業者など、多様な関係機関との連携をして拡充していくことができると考えるが、いかがか。</p> <p>⑤ コロナ禍を経て観光のあり方も見直され、現在キャンプが人気となっており、道の駅に隣接するRVパークの設置も進んでいるが、道の駅の拡充と共に、新たな観光の呼び水としてRVパークの設置はできないか伺う。</p>		

令和5年第5回鹿角市議会定例会一般質問

No.4

順位	10	質問者	兎澤 祐一	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨		
			<p>⑥ 道の駅は観光資源としても注目されているが、周辺観光施設と連携させて観光ルートに入れることや、多言語対応やキャッシュレスなどの基本サービスの充実により、訪日外国人観光客を取り込むこともできると考えるが、いかがか。</p> <p>⑦ 道の駅は、あらゆる世代が活躍できる舞台となる地域センター的な視点もあり、地域の未来を拓く様々な可能性も持っていることから、子育て支援施設の併設や、生活の足となる自動運転サービスのターミナルとするなど、あらゆる世代が活用できる環境をつくることが大事であり、このような視点で道の駅の活用に取り組んでほしいと考えるが、いかがか。</p>		